

地域医療・地域保健 I

M-02-05-L

オーガナイザー

地域医療支援センター 上野 雅巳

健康管理センター 北野 尚美

教員名

教授 上野 雅巳, 廣西 昌也

准教授 北野 尚美

講師 蒸野 寿紀

助教 中村 有貴, 川端 大輝

外部講師 崎山 美知代

I 授業の目的

医療人として求められる社会的役割を担い、グローバル・ヘルスの視点をもって地域・国際社会に貢献するために、地域医療・地域保健の在り方と現状及び課題を理解し、地域社会において保健医療に貢献するために必要な能力を獲得する。Practice based researchの理念と特性を理解し、地域の現場での実践に必要な基礎知識（研究倫理を含む）を修得する。社会と健康・疾病との関係への理解を深め、個体及び集団をとりまく環境諸要因の変化による個人の健康と社会生活への影響について理解し、地域コミュニティにおける予防医学やヘルスプロモーションの取組に必要な能力を獲得する。

II 到達目標

1. 医師法、医療法等の医療関連法規に定められた医師の義務を列挙できる。医療従事者の資格免許、現状と業務範囲、職種間連携を説明できる。
2. 地域社会（へき地・離島を含む）における医療の状況、医師の偏在（地域、診療科、臨床医学、社会医学、基礎医学）の現状について基本事項を説明できる。
3. 限られた医療資源の有効活用の視点を踏まえ、保健・医療・福祉・介護の制度を学ぶ。医療計画の変遷（医療圏、基準病床数、地域医療支援病院、病院・診療所・薬局の連携等）と地域医療構想及び地域包括ケアシステムについて、基本事項を説明できる。
4. 地域における救急医療、在宅医療について説明できる。プライマリ・ケアの概念を理解し、かかりつけ医等の役割を説明できる。過疎地域（無医地区、離島を含む）の医療の体制、へき地医療について説明できる。
5. プライマリ・ヘルス・ケアの概念を理解し、地域における保健（母子保健、学校保健、成人・高齢者保健、地域保健、精神保健）・医療・福祉・介護の分野間及び多職種間（行政を含む）の連携の必要性を説明できる。
6. 健康、障害と疾病の概念と社会環境について説明できる。社会構造（家族、コミュニティ、地域社会、国際化）と健康・疾病との関係（健康の社会的決定要因）を概説できる。
7. 予防医学のストラテジーを理解し、地域における予防医学（一次、二次、三次予防）の実践が、地域住民の健康の保持増進、健康寿命の延伸に寄与することを例を挙げて説明できる。
8. 薬物に関する法令を概説し、医薬品の適正使用に関する事項と医師の役割を説明できる。副作用と有害事象の違い、報告の意義（医薬品・医療機器等安全性情報報告制度等）を説明できる。

III 教育内容

講義項目と担当者（予定）

講義日程表（予定）

No.	月日	曜日	時限	項目	担当教室	担当
1	R6.9.26	(木)	3	地域医療①(未定)	地域医療支援センター	上野／川端
2	R6.10.3	(木)	3	地域医療②(地域医療と総合診療)	紀北分院	廣西

3	R6.11.18	(月)	3	地域医療③(多職種連携)	地域医療支援センター	中村
4	R6.11.25	(月)	3	地域医療④(プライマリ・ケア)	地域医療支援センター	蒸野
5	R6.12.13	(金)	1	健康管理①(健康の概念とプライマリ・ヘルス・ケア)	健康管理センター	北野
6	R6.12.13	(金)	2	健康管理②(社会・環境と健康)	健康管理センター	北野
7	R6.12.20	(金)	1	健康管理③(ヘルスプロモーション)	健康管理センター	北野
8	R6.12.20	(金)	2	健康管理④(薬と健康:医療用医薬品に関する基礎知識)	健康管理センター	崎山/ 北野

IV 学習および教育方法

講義

V 評価の方法

2/3以上の時間数講義に出席した者を評価の対象とする。評価は、筆答で行い、講義に臨む姿勢と提出されたレポートを総合的に評価し、60点以上を合格とする。

VI 教科書・参考書等

1. 地域医療学入門 日本医学教育学会地域医療教育委員会・全国地域医療教育協議会合同編集委員会 監修 診断と治療社 2019
2. WMA 医の倫理マニュアル 原著 第3版 樋口範雄 監修 日本医師会 発行 日本医事新報社 2016
3. 国民衛生の動向 2023/2024 (厚生指針増刊) 一般財団法人厚生労働統計協会 2023
4. e-ヘルスネット <https://www.e-healthnet.mhlw.go.jp/information/> (2024年2月アクセス)
5. たばこと健康に関する情報ページ 厚生労働省 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/tobacco/index.html (2024年2月アクセス)
6. 栄養・食育対策 厚生労働省 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/eiyuu/index.html (2024年2月アクセス)
7. 医薬品医療機器総合機構: PMDA メディナビ(医薬品医療機器情報配信サービス) <https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/medi-navi/0007.html> (2024年2月アクセス)
8. 社会を変える健康のサイエンス: 健康総合科学への21の扉 東京大学医学部健康総合科学科 東京大学出版会 2016
9. 地域包括ケアのまちづくり ―老いても安心して住み続けられる地域を目指す総合的な試み 東京大学高齢社会総合研究機構 編集 東京大学出版会 2020
10. 健康行動理論による研究と実践 一般社団法人日本健康教育学会 編集 医学書院 2019
11. 若月俊一对話集 第1集 地域で人間をみる 旬報社 2010
12. 若月俊一对話集 第2集 予防は治療にまさる 旬報社 2010
13. 若月俊一对話集 第3集 豊かな老いをつくる 旬報社 2011
14. 死を生きた人びと ―訪問診療医と355人の患者 小堀鷗一郎 著 みすず書房 2020
15. 子どもの貧困 ―日本の不公平を考える 阿部 彩 著 岩波書店 2008
16. 子どもの貧困調査 ―子どもの生活に関する実態調査から見えてきたもの 山野則子 著 明石書店 2019
17. 国際保健医療学 第3版 日本国際保健医療学会 編集 杏林書院 2013
18. 実践グローバルヘルス ―現場における実践力向上をめざして 日本国際保健医療学会 編集 杏林書院 2022
19. プラネタリーヘルス ―私たちと地球の未来のために 長崎大学 監訳 河野 茂 総監修 丸善出版 2022

VII. オフィスアワー

地域医療支援センター 火曜日・木曜日 終日

【連絡方法】mushino★wakayama-med.ac.jp (担当：蒸野 寿紀)

【実施場所】東棟3階 地域医療支援センター

公衆衛生学（健康管理センター）教室 水曜日 10時～12時，16時～17時

【連絡方法】r-rccm★wakayama-med.ac.jp (担当：北野 尚美)

【実施場所】高度医療人育成センター5階 学生相談室

【備考】電子メールでご連絡ください。相談内容に応じて、日時などオフィスアワー外であっても調整させていただきます。

	1 基盤的資質				2 医師としての基本的資質			3 コミュニケーション能力			4 医学的知識										5 医学の実践										6 医学的(科学的)探究				7 社会貢献									
	問題解決型能力	情報技術	語学能力	社会人としての一般教養	倫理観	チーム医療	自己啓発	人間関係の構築	他者への思いやり	情報交換	細胞の構造と機能	人体の構造と機能	人体の発達、成長、加齢、死	疾病の機序と病態	検査・画像診断技術	基本的診察知識	疾病の診断・治療方法	EBMの利用	生物統計、疫学	行動科学・医療経済	法令、研究倫理	患者尊厳	基本的臨床技能	臨床推論・検査所見・画像診断	診療録作成	治療選択	救急医療	緩和・終末期・看取りの医療	介護と在宅医療	患者説明	医療安全・感染予防	予防医学	副作用・薬害	副用・薬害	プレゼンテーション技能	和歌山県医療	保健制度	基礎医学研究	臨床医学研究	社会医学研究	研究成果の公表	研究倫理の実践	地域貢献	福祉活動
卒業時コンピテンシ	C	E	F	E	C	E	E	F	F	E	F	F	D	D	F	F	F	D	E	D	D	C	F	F	F	F	D	D	D	D	C	D	C	E	C	D	F	D	D	F	F	C	F	F